

来年度(17年度)検討項目

1 来年度の目標

保護管理計画の各内容を検討し、計画案を形成する。

2 検討項目：

2-1 計画策定に直接関係する検討項目

- ①各ゾーンごとの管理目標の設定とシナリオ（管理手法）
- ②知床岬等のように既にデータがある地域については、特に詳細な計画を策定することとなるが、その対象地域と管理方針
- ③計画スタート後のモニタリング項目
- ④その他、計画に必要な項目のリストアップ
- ⑤計画の実施体制やモニタリング体制
- ⑥保護管理計画骨子案の策定

2-2 計画策定に当たって、科学的に未解決な検討項目

- ①エゾシカの高密度化による植生への影響は、1)不可逆的であるのか、2)やがて悪影響は回復するのか
- ②現在のエゾシカの大発生は、自然生態的過程か、人為的な影響なのか
- ③現在のようなエゾシカの大発生は、過去にも存在したのか
- ④植生タイプ・地域によって、どのようにエゾシカの採食圧が違うのか
- ⑤エゾシカの踏圧による土壌浸食の実態
- ⑥個体数調整の効果と適正密度
- ⑦知床岬に居住していたと言われる先住民族が、エゾシカの動態に与えた影響

3 平成 18 年度の目標

平成 18 年度は、1)科学委員会での審議、2)外からの修正意見、3)調査結果を踏まえて、エゾシカ WG で計画骨子案を修正し、最終的にとりまとめた計画案を年度末に提出することになる。